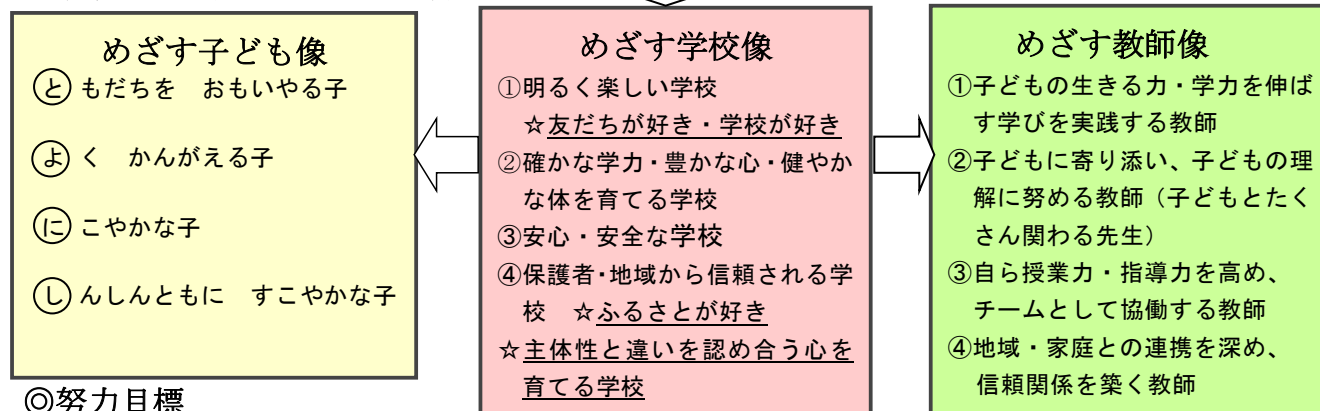


令和8年度 学校教育目標及び努力目標

◎学校教育目標

地域・家庭と連携し
確かな学力を持ち心豊かにたくましく生きる子どもを育てる

◎教育方針（めざす三つの像）



◎努力目標

1, 社会で自立して生きていく基礎を育てる

- ・ 基礎・基本の確実な定着を図り、確かな学力を育成する。
- ・ 集団の中で自分の役割を果たしながら、個性や能力を発揮し、自分らしく生きる力を育成する。
- ・ 仲間と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ・ 一人ひとりの可能性を最大限に伸ばすことをめざし、特別支援教育を充実させる。

2, 人権を大切にし、心豊かに生きる力を養う

- ・ 人権感覚や自尊感情を高めるため、教育活動全体を通じて一人ひとりの存在や思いを大切にする。
- ・ いじめや身近な人権課題について考え、問題を解決しようとする実践的な態度を育成する。
- ・ 読書活動や文化・芸術活動を充実し、豊かな情操や感性を育む。

3, 健やかに、たくましく生きるための基礎を育てる

- ・ 心身ともに健康な体づくりのため、健康教育・食教育を推進する。
- ・ 運動の楽しさや喜びを感じられるような授業や遊びを充実させ、体力の向上に努める。
- ・ 交通安全や防災・防犯学習等、命と身体を守る学習を充実する。

4, 地域・家庭と連携した教育活動を行う

- ・ ふるさとの文化と伝統を尊重し、地域教材の開発や授業実践を行うとともに、地域人材を活用する。
- ・ 学校だよりやホームページ、学級だよりによる情報発信に努める。
- ・ 家庭と連携し、基本的な生活習慣・家庭学習の習慣・運動習慣の確立に努める。

5, 職員の意欲的な教育活動の継続を図るため、安全・健康管理に努める

- ・ 職員の健康の保持増進を図り、元気回復に努める。
- ・ 安全点検による施設の管理と改善により、清潔で安全な教育環境の整備を行う。
- ・ 学校安全衛生委員会を活用し、職員の安全と健康管理に努める。
- ・ 以下の指標を設定し、総勤務時間縮減に努める。
(活動指標) 定時退校日 (月 2 日) 職員の 90% 以上、会議の短縮化 (60 分以内) 全会議の 60% 以上
(成果指標) 時間外労働時間 (月平均 30 時間以下) 職員の 90% 以上、同 (月 45 時間以上) 0 人、
年休取得日数 (昨年度から年間 1 日増) 全職員

◎本年度の重点

- ☆ 授業や活動、仲間との関わりの中で、友だちを大切にし、自分の思いや考えを伝える力を育てる。
- ☆ 学校行事での集団活動や異年齢活動を充実させ、個々の力を伸ばし、仲間意識を高める。
- ☆ 毎時の授業や活動で基礎的・基本的な力を定着させ、「主体的・対話的で深い学び」のある授業を進め、学力の向上をめざす。特に「聞く力」と「話す力」、「書く力」を伸ばす。